

令和7年度第2回山形市少年自然の家運営協議会

日 時 令和8年2月17日(火)
午前10時00分から正午まで

場 所 少年自然の家 研修室

次 第

1 開 会

2 教育長あいさつ

3 運営協議会長あいさつ

4 協 議

(1) 令和7年度 事業報告について…………… P 2

(2) 令和7年度 利用状況について…………… P 3

(3) 令和8年度 運営方針(案)について…………… P 4～8

(4) 令和8年度 事業計画(案)について…………… P 9

(5) 令和8年度 利用予定について…………… P 10～11

(6) その他

5 閉 会

6 利用団体活動状況視察(ゲレンデ・サービスセンター)

活動団体 さくらんぼ幼稚園 29名

山形南保育園 25名

少年自然の家運営委員名簿

No	会長 副会長	委員名	ふりがな	役職等	就任	規則15条
1	会長	黒木佳昭	くろき よしあき	元山形市立第八小学校校長	令和5年6月1日～	4号委員 (知識経験を有する者)
2	副会長	横倉明	よこくら あきら	日本蝶類科学学会理事	平成19年6月1日～	4号委員 (知識経験を有する者)
3		長沼政直	ながぬま まさなお	山形市立第八中学校校長	令和5年6月1日～	1号委員 (小中学校長)
4		山口雅和	やまぐち まさかず	山形市立南沼原小学校校長	令和5年6月1日～	1号委員 (小中学校長)
5		辻原吉子	つじはら よしこ	ガールスカウト山形県連盟連盟長	平成31年6月1日～	2号委員 (社会教育関係 少年団体の役員)
6						3号委員 (山形市社会教育委員)
7		黒沼末八	くろぬま すえはち	双葉を良くする会	令和3年6月1日～	4号委員 (知識経験を有する者)
8		大嶋民代	おおしま たみよ	山形市レクリエーション協会副会長	令和5年6月1日～	4号委員 (知識経験を有する者)
9		横戸美栄	よこと みえ	公益財団法人 やまがた森林と緑の推進機構 山形県民の森所長(兼)マネージャー	令和7年6月1日～	4号委員 (知識経験を有する者)
10		渡辺彰	わたなべ あきら	山形市PTA連合会副会長	令和7年8月1日～	4号委員 (知識経験を有する者)

令和7年度 主催事業成果と課題

山形市少年自然の家

対象	No.	主催事業名	募集人員	参加人数	ねらい	方向性 または 成果と課題	主な内容	期日
I 指導者	1	夏期利用指導者講習会 [小・中学校教員等]	該当団体	64名	各校の活動プランを、自然の家のねらい及び指導者や子どもの願いを反映したものにするために、実技研修・育ちを実現するための活動と支援についての研修・リスクマネジメント研修を行い、指導者の資質向上をめざすとともに、利用団体間の利用調整を行う。	各校の「子どもが育つプログラム」をデザインする力を高めることを踏まえ、夏期と秋期は2部構成で実施している。第1部(午前)は実技研修。第2部(午後)は必修とし、育ちを実現するための活動と支援やリスクマネジメント・手続き等を学ぶ研修及び各団体間の利用調整を実施したが、各回とも参加者の満足度は高かった。 若手の教員も増え、実技研修の機会の確保や事前研修の充実という意味においても重要な機会ととらえ、さらなる研修会の充実を図ってきたい。	施設見学・実技研修(選択) 子どもの育ちを実現する活動と支援 リスクマネジメント研修 利用調整・事務手続	4月15日(火) 1部 9:00~12:00 2部 14:00~17:00
	2	秋期利用指導者講習会 [小・中学校教員等]	該当団体	37名			施設見学・実技研修(選択) 子どもの育ちを実現する活動と支援 リスクマネジメント研修 利用調整・事務手続	8月1日(金) 1部 9:00~13:00 2部 14:00~17:00
	3	冬期利用指導者講習会 [小・中学校教員等]	該当団体	58名			子どもの育ちを実現する活動と支援 リスクマネジメント研修 利用調整・事務手続	12月2日(火) 14:20~16:50
	4	利用指導者講習会 [子供会等]	該当団体	—	施設見学や実技研修・研修プログラムについての研修を行い、指導者の資質向上をめざす。	実施時期までの利用申し込み団体が少ないため、団体ごと事前打合せ時に実施している。各団体のニーズに応じた研修ができるため、大変好評である。職員の負担軽減にもつながるため、来年度もこの実施体制を継続したい。	施設見学・プログラム体験(選択) 子どもの育ちを実現する活動と支援 リスクマネジメント研修 利用調整・事務手続	各団体個別に実施
	5	冬期利用指導者講習会 [子供会等]	該当団体	—			実技研修(選択) リスクマネジメント研修 利用調整・事務手続	各団体個別に実施
	6	ボランティアスタッフセミナー	大学生 大学院生	5名	子ども理解を深め、各事業での具体的な活動を想定しながら研修することにより、ボランティアとしての資質向上を図る。	昨年度より日帰り開催に変更して実施。自然の家での体験活動に魅力を感じてもらい、職員と接する機会も多く設定して、ボランティアとして参加したいと思える研修会としていく。	施設見学「館内オリエンティング」「自然の家スタンプラリー」 実技研修「原始の火起こし」「炊飯活動」	5月11日(日)
II 小・中学生	7	第27回 わんぱくサマーキャンプ 1泊2日	小4~中2 30名程度	34名	キャンプや自然体験活動を通して、自然の素晴らしさを実感するとともに、友だちと協力することの大切さを感じ取る。	少年団に参加していたなど、自然の家での野外活動に慣れ親しんだ参加者が多い。その経験を生かすことができるように、既存の活動をベースに内容を工夫しながら実施していく。	テント泊・炊飯活動 食材ゲットオリエンティング ナイトハイク 他	8月2日(土) ~3日(日)
	8	第32回 わんぱくウインターキャンプ 1泊2日	小4~中2 30名程度	35名	冬の自然体験を通して、自然の雄大さ・協力することの大切さを実感するとともに、門松作りなどの伝統文化のよさを味わう。	自然の家の施設やプログラムを活用した研修内容を設定し、自然の中で活動する喜びを体感させるとともに、異学年の交流を大切に活動を展開することができた。	冬の自然探検・クリスマスパーティー 門松づくり 他	12月20日(土) ~21日(日)
	9	第39期 少年団 1泊2日 年7回	小4 30名程度	① 28名 ② 30名 ③ 28名 ④ 29名 ⑤ 27名 ⑥ 26名 ⑦ —	年間7回の宿泊活動の中で、さまざまな自然体験や仲間との協働体験などを通して、心身ともにたくましく、自然を愛する子どもを育成する。	学校などでは経験できない体験活動に取り組みながら、学校や学年のリーダーになれるように炊飯活動や宿泊棟での生活など、自然の家の生活における基本的な技能を身につけさせることができた。 個別支援が必要な参加者も増えてきており、保護者と連携しながら必要な支援を確認して対応してきた。また、活動ごとの振り返りをぜひに行い自分の変容に気づかせてきたことで、仲間と心で繋がりに乗り越えていく心地よさや主体的に行動する充実感を味わわせることができた。	フジエアドベンチャー・ナイトハイク 他 テント泊・炊飯活動・キャンプファイヤー 他 テント泊・班別活動 他 白鹿山WRV・山ゴミゼロ大作戦 他 芋煮づくり・個別選択活動 他 ラングラウフスキー・ゲレンデ遊び 他 雪上運動会・文集・卒団式 他	① 6月7日(土)~8日(日) ② 7月5日(土)~6日(日) ③ 8月23日(土)~24日(日) ④ 9月27日(土)~28日(日) ⑤ 11月8日(土) ※無対応により日帰り実施 ⑥ 1月10日(土)~11日(日) ⑦ 2月21日(土)~22日(日)
	10	わくわくキッズキャンプ 1泊2日 年2回	小3・4 各30名程度	① 33名 ② 21名	自然体験活動を通して、自然の素晴らしさを実感するとともに、初めて会う職員や友達と交流する楽しさを味わう。	小3の子どもにとっては野外活動の入門として、小4の子どもにとっては少年団に代わる事業としての位置付けがあり、応募者の多い事業である。その期待に応えることができる活動を意識して仕組んでいきたい。	夏 テント泊・炊飯活動・東黒森山ウォークラリー キャンプファイヤー・いかだ 他 冬 そり滑り・チューブ滑り ラングラウフスキー 他	① 6月21日(土)~22日(日) ② 1月31日(土)~2月1日(日)
	11	森の昆虫見つけ隊 3日間より選択	小3~中3 までの親子 10組20名程度	① 6家族14名 ② 10家族24名 ③ 14家族29名	昆虫採集・標本作りを通して、豊かな自然環境を大切にしていこうとする気持ちを育てる。	講師を2名にお願いしていることで、定員を超えた日も全て受け入れることができた。暑さ対策として標本づくりの会場を研修室に変更して実施したが好評であった。来年度は、季節ごとの昆虫を観察できる講座を新設したい。	昆虫採集 昆虫標本作り	① 7月25日(金) ② 7月26日(土) ③ 7月27日(日)
	12	自然チャレンジ部【新規】 年5回	中1・2 5~10名程度	① 5名 ② 5名 ③ 4名 ④ 5名 ⑤ 5名	生徒達自らが活動内容を検討してプログラムを作成し、協力して自発的に活動することで、生活でのさまざまな課題について、適切に対応し解決に向けた行動力を養う。	生徒達は、自分たちで考えた活動に主体的・協働的に取り組みやり遂げることができた。5人という少人数だったため、職員も丁寧な個別支援を行うことができた。来年度は、部活動の地域展開に対応し、時期を見直して実施したい。	①施設見学・活動計画作成 ②炊飯活動(ピザづくり) ③クラフト活動(草木染め、卓球ラケットづくり) ④炊飯活動(各自) ⑤活動のまとめ、焚火パーティー	① 8月30日(土) ② 10月4日(土) ③ 10月25日(土) ④ 11月22日(土) ⑤ 12月6日(土)
III 親子	13	親子ふれあい自然体験 日帰り	小1~3年の親子 10組程度	① 15家族46名 ② 14家族47名	親子自然散策や調理などを通して自然の豊かさを体感させるとともに、親子でのふれあいの機会をつくる。	自然体験活動や炊飯活動を通して、親子のコミュニケーションの活性化を図ることができた。保護者の中には、子どもの成長を感じたという感想も多かった。当日のキャンセルはあるが申込み者が多く、来年度も継続したい。	荒沼で魚釣り・追跡ハイキング 炊飯活動 他	① 5月10日(土) ② 5月24日(土)
	14	親子そば打ち道場 日帰り	中3までの親子 15組程度	13家族39名	親子での体験を通して、自然の家の役割についての理解を深め、自然に親しむ契機としていただく。	そば打ち体験を通して、親子の絆を深めることをねらいとした。会場や日程、用具の都合上、15家族程度を定員とし、来年度も開催したい。	そば打ち講習 そば試食会	11月29日(土)
IV 一般市民	15	自然の家 秋祭り	一般市民 200名程度	314名	市民に施設を広く開放し、様々な野外活動・文化活動などの機会を提供することにより、少年自然の家の機能や役割についての理解を深め、豊かな山形の自然環境保全について考える契機としていただく。	天候に恵まれ、多くの来場者があった。市役所ウインドアンサンブルの皆さんによる野外コンサートや多様な食が楽しめる直火焼き体験、県民の森の湖沼に生ける魚すくい等、内容を工夫したことで来場者からは好評を得ることができた。また、今年度も就労支援所「こんにやく道場」に出店を依頼したことで、会場を盛り上げていただいた。	野外活動 (ディスクゴルフ、ツリークライミング、直火焼き体験 他) 文化活動 (森のコンサート、クラフト活動 他)	9月14日(日)
	16	周辺の自然を味わう×季節毎	一般市民 20名程度	春 10名 秋 14名 冬 24名 冬 6名	同上	一般市民に、自然の家の施設や活動内容について理解していただくような体験活動の場を提供することができた。ラングラウフスキー体験会は、常時道具のレンタルが可能で市民に体験の機会を提供できていることから、次年度からは対象を変更し、自然チャレンジ部内の活動とする。	春 自然観察会 秋 自然観察会 冬 かんじきトレッキング・ラングラウフスキー体験	春 4月26日(土) 秋 10月11日(土) 冬 令和8年1月25日(日)
	17	家族でキャンプ体験	一般市民 家族10組	① 6組21名 ② 6組21名 ③ 6組24名	一般市民にテント泊によるキャンプ体験を提供し、入門編として今後のキャンプ体験のきっかけとしていただく。	テントを始めとした道具の無料貸し出しと職員の支援により、野外活動体験の第一歩として好評を得ている。来年度は回数を2回に減らす、より家族で参加しやすい夏休み中にも事業を実施する。	板橋沼キャンプ場でのキャンプ体験	① 6月28日(土)~29日(日) ② 7月12日(土)~13日(日) ③ 9月6日(土)~7日(日)
	18	プラネタリウム一般公開 年3回	一般市民 70名程度×2回	① 87名 ② 100名 ③ 65名	一般市民を対象とした生涯学習を目的とし、プラネタリウム体験を通して、星空への興味や関心を高める。※2回目は、自然の家秋祭りの一つの活動として計画する。	今年度も対象と内容を変えずに午前午後の2部制で3回実施した。小さな天文学者の会所属の講師の解説も大変好評であり、今後も協力体制の下、公開を行っていきたい。	1回目……春・夏の星座 2回目……夏・秋の星座 3回目……秋・冬の星座	① 5月25日(日) ② 7月13日(日) ③ 11月1日(土)
	19	生活体験の家活用事業【新規】	一般市民 15名程度	26名	生活体験の家にふさわしい事業を実施し、施設の活用を図る。	人気のある講師を招聘したことで、多くの参加者があった。生活体験の家の歴史や作りも市民に知っていただくことができた。次年度はより暖かい時期に開催する。	黒木あるじ氏による怪談話	11月2日(日)
V 共催	20	雪椿鑑賞会	一般市民 30名程度	大雪のため中止	雪椿の群生地として貴重な場所であることを広く知らせ、環境への関心を高める。	今年度は残雪が多いため中止となり、市民から案内の依頼があった場合に対応することになった(依頼なし)。来年度以降も地元の方々との協力して実施していく。	自然の家職員による説明 他	4月27日(日)
VI 支援	21	山形大学 社会教育実習	山形大学 学生	37名	学校教育と社会教育の連携の在り方や子どもに対する支援の在り方について、実際の活動を通して理解を深めさせる。	講義や実技研修を中心とした基本実習と、主催事業の中で実際に子どもに支援する応用実習の関連を明らかにしながら指導にあたった。来年度からの教育学部移行によりさらに受講者が増えることが想定されるが、担当教授と連携して来年度も実施したい。	基本実習 ・指導者に必要な支援を学ぶ講義・実技研修 他 応用実習 ・実際の支援の在り方を体験する研修	基本実習:8月13日(火) ~15日(木) 応用実習:各主催事業

令和7年度 月別利用状況

7年度		本館						荒沼キャンプ場						板橋沼キャンプ場						野外活動センター						合計					
		小学校	中学校	子供会等	主催事業	その他	小計	小学校	中学校	子供会等	主催事業	その他	小計	小学校	中学校	子供会等	主催事業	その他	小計	小学校	中学校	子供会等	主催事業	その他	小計	小学校	中学校	子供会等	主催事業	その他	合計
		実 団 体 数	4月		1		2	2	5						0						0				1	2	3	0	1	0	3
5月	6		6	1	3		16	2					2	1	4		2	1	8	1	3				4	10	13	1	5	1	30
6月	24				2	5	31	1			1		2	9			1		10	2		1			3	36	0	1	4	5	46
7月	12		1	2	5	5	25	1					1	5			2		7					1	1	18	1	2	7	6	34
8月				1	4	7	12						0			1	2		3			1	2	3	6	0	0	3	8	10	21
9月	10				1	1	12			1			1	1			1		2	10			1		11	21	0	1	3	1	26
10月	4		1	2	2	1	10			1			1			1			1	13		1	2		16	17	1	5	4	1	28
11月					5	2	7						0					1	1						0	0	0	0	5	3	8
12月					2		2						0						0				1		1	0	0	0	3	0	3
1月	8				3	3	14						0						0	26			4	10	40	34	0	0	7	13	54
2月																															
3月																															
合計			64	9	6	29	26	134	4	0	2	1	0	7	16	4	2	8	2	32	52	3	3	11	16	85	136	16	13	49	44
前年度		63	7	9	24	30	133	5	0	0	0	0	5	20	5	1	1	3	30	58	0	4	10	19	91	146	12	14	35	52	259
																										前年度比	99.6%				
延 人 数	4月		32		28	36	96						0						0				10	1,028	1,038	0	32	0	38	1,064	1,134
	5月	384	1,213	280	139		2,016	308					308	34	656		93	18	801	9	510			309	828	735	2,379	280	232	327	3,953
	6月	2,738			134	119	2,991	32			76		108	1,055			42		1,097	207		24		338	569	4,032	0	24	252	457	4,765
	7月	1,265	9	38	229	379	1,920	94					94	698			104		802					355	355	2,057	9	38	333	734	3,171
	8月			63	182	381	626						0			63	128		191			63	128	613	804	0	0	189	438	994	1,621
	9月	812			82	40	934			58			58	190			48		238	850			314	371	1,535	1,852	0	58	444	411	2,765
	10月	261	20	213	21	30	545			139			139			139			139	986		139	16	277	1,418	1,247	20	630	37	307	2,241
	11月				178	62	240						0					6	6					238	238	0	0	0	178	306	484
	12月				89		89						0						0				84	244	328	0	0	0	173	244	417
	1月	526			152	75	753						0						0	2,323			159	2,366	4,848	2,849	0	0	311	2,441	5,601
	2月																														
	3月																														
	合計		5,986	1,274	594	1,234	1,122	10,210	434	0	197	76	0	707	1,977	656	202	415	24	3,274	4,375	510	226	711	6,139	11,961	12,772	2,440	1,219	2,436	7,285
前年度		6,810	1,044	748	1,315	1,553	11,470	389	0	0	0	0	389	2,258	811	66	29	154	3,318	4,690	0	281	394	7,605	12,970	14,147	1,855	1,095	1,738	9,312	28,147
																										前年度比	92.9%				

施策
1-2

価値ある豊かな体験活動の充実

子どもの「社会を生き抜く力」として必要な基礎的な資質・能力を養うため、価値ある豊かな体験活動の充実を図る。

また、自然体験活動を通して、子どもたちが自ら学ぶ態度や社会の変化に対応できる総合的な生きる力が身につくように支援する。

■取組 1 発達段階に即した体験活動 【学校教育課】

■取組 2 地域や関係機関と連携した体験活動 【学校教育課】

- (1) 学校や地域の特色を生かした体験活動
各学校の特色や地域の文化を生かした豊かな教育活動を展開するため、地域学校協働活動推進員との連携や、学校ボランティアや有識者等の協力を得られるよう支援する。
- (2) 企業や行政と連携した体験活動
市立中学校2年生の職場体験学習やマナーアップ講習会の実施にあたり、行政や企業等と一体となった取組になるよう支援する。
- (3) 少子化に対応した活力ある学校づくり
小規模校等における多様なコミュニケーション機会の確保のため、他地域との直接交流やオンライン交流を通じた学習等を取り入れ、普段できない体験を積み重ねられるよう支援する。

<主な事務事業>

- ・魅力ある学校づくり推進事業
- ・中2・はたらく体験推進事業
- ・少子化に対応した活力ある学校づくり事業

■取組 3 少年自然の家における学校教育への支援 【少年自然の家】

- (1) 利用する学校の主体的活動に対する支援

少年自然の家での活動は、校内生活ではなかなか経験できない体験が実践できる機会となる。自然に親しむこと、友達と生活を共にすることなど、利用する学校の宿泊学習のねらいが達成されるように活動を支援する立場として、学校のニーズに応じた指導の工夫・改善を行う。

① 研修プログラムへの支援

自然の家周辺の自然環境や施設を生かした研修活動を提供し、子どもにとってゆとりがあり満足感・達成感を得ることができるプログラムを展開できるように支援する。

② 指導者講習会及び事前打合せ会の充実

指導者を対象とした実技研修、リスクマネジメント等の指導者講習会を行うことで、指導への不安解消、危機管理意識を高め、子どもへの指導の充実や事故の予防を徹底する。

事前打合せ会では、各学校のねらいが達成できるプログラムになっているのかを検討し、子どもが主体的・協働的に学ぶことができるゆとりある研修プログラムになるよう助言する。

また、活動場所の確認や実際に活動を行うなど、指導者がより活動の見通しをもって子どもの指導を行っていくことができるように支援し、子どもが自ら学ぶ体験活動を目指す。

③ 指導資料の活用と整備

利用する学校が活用しやすいように、活動の目的がわかりやすい指導資料を整備し、ホームページ等を利用して資料や情報の提供を行うことで、研修プログラムの作成や手続き等の更なる利便性の向上を目指す。

④ バス利用への支援

小中学生の自然体験活動を推進し充実させていくために、山形市内の小中学校の利用に対して貸し切りバス代等の助成を行う。

施策
6-1

市内小中学生を対象とした自然体験活動を通して生きる力を育む自主事業の実施

豊かな心を育み、安らぎと潤いのある市民生活を支援するため、自然の中での活動やふれあいの場を提供していく。また、環境に関する情報提供を通して、市民が環境について学ぶ場を提供するとともに、次代を担う子どもたちに対する環境学習を実施する。

■取組 1 子ども自身による体験学習の場の提供 【少年自然の家】

(1) 年間を通した自然体験宿泊活動（第40期 少年団）

心身ともにたくましく、自然を愛する子どもを育成するため、「少年団」を結成し、年7回（一泊二日×7回）の継続した活動を行う。プロジェクトアドベンチャー、野外炊飯活動、白鷹山ウォークラリーなど、日常生活では経験できない自然体験活動を行い、自分で生活を創っていくために必要な基本的技能を身につけるとともに、集団生活を通してリーダーとしての資質を高めることも目的とする。

(2) 季節に応じた自然体験宿泊活動

児童生徒を対象に、夏にはテント泊、いかだアドベンチャー、また、冬には門松作り、雪上運動会など、その季節にしかできない自然宿泊体験活動を実施する。季節で変化する自然のすばらしさと厳しさにふれることにより、自然に対する畏敬の念を深めることを目指す。あわせて、初めて出会う仲間と協力することにより、人とのかかわりのよさを再認識することも目的とする。

① サマーキャンプ・ウィンターキャンプ（各1回）

市内小学4年生から中学生2年生までを対象に、季節に応じ冒険的要素を取り入れた宿泊体験活動を長期休業中に実施する。

② キッズキャンプ（夏×1回 冬×1回）

自然に対する興味関心を高めるとともに、人とのかかわりのよさを再認識することができるように、市内小学3、4年生を対象にした育成事業を年2回実施する。

(3) 部活動の地域展開に対応した自然体験活動（自然チャレンジ部）

中学1・2年生を対象に、自然体験活動を通して生活におけるさまざまな課題について適切に対応し、解決に向けた行動力を養うことを目的に実施する。生徒達が自ら活動内容を検討してプログラムを作成し、それぞれが協力し自発的に行動することでプログラムの達成を目指す。

■取組 2 親子によるふれあいの場の提供の推進 【少年自然の家】

(1) 親子そば打ち道場

自然に親しみながら親子の絆を深めることができるように、自然の家周辺で取れた竹を使ってそば猪口や箸を作ったり、そば打ちを行ったりする。また、そば打ちの講師として地域人材を活用することにより、地域コミュニティの活性化を図る。

(2) 親子ふれあい自然体験（2回）

親子自然散策や焚火での調理などを通して、親子のコミュニケーションの活性化を図り、親子で自然の豊かさを体験する活動を行う。

親子での協働のもと子どもの自立を促すために、保護者へ「見守る姿勢」の重要性も伝えながら、活動を展開する。

■取組3 自然と共生する事業の充実 【少年自然の家】

(1) 野外活動センターにおける野草・昆虫標本・水生生物の展示や標本づくり体験

自然環境に対する認識を深め、環境保全への実践力を高めるため、野草や昆虫等の標本及び水生生物を展示する。また、年間3回にわたって、昆虫標本づくりを体験する「森の昆虫見つけ隊」を実施する。

(2) 施設一般開放

広く市民に自然の家の施設や活動内容について理解してもらい、自然に親しむきっかけとなるよう、施設を市民に開放し、野外活動・創作活動などの機会を提供する。また、野外活動センターにおいての市民の利活用が促進されるよう広報していく。

(3) プラネタリウムの一般公開（3回）

天体への興味や関心を高めるために、市民を対象にしたプラネタリウムの一般公開を行う。

あわせて、プラネタリウム後に実際の星空の観察や天体望遠鏡による観察を行い、星空への関心を更に高める。また、「小さな天文学者の会」と連携し、より専門的な知識を借りながら開催する。

(4) スキー場の一般開放

スキーやそりすべり、チューブすべりなど、積雪時の自然とのかかわりを体験し、自然環境への理解を深めるため、冬季に野外活動センター前のゲレンデを一般開放する。また、親子一緒に雪遊びを通し、親子の絆を深めるとともに保護者の方には童心に帰る楽しさを味わうことができる場の提供を目指す。

冬季の自然を楽しみ、動物の足跡や植物の冬芽などの環境を観察するため、自然の家周辺を散策するラングラウフスキーの貸出し（小中学生無料）も行う。

<成果指標>

目標名		実績				目標値
		R 4	R 5	R 6	R 7	R 8
少年自然の家を利用する山形市立学校数(校)	小学校	3 6	3 6	3 6	3 6	3 6
	中学校	4	5	6	7	1 5

施策
6-2

広く市民が「自然と人間の共生」について学ぶ環境整備の推進

安全・安心な施設の運営を図るとともに、自然環境の保全に配慮しながら施設・設備の活用を図る。

■取組 1 各種利用団体への支援 【少年自然の家】

子ども会等、自然の家を利用する各種団体の目的を明確にした体験活動を通して、子どもが自ら学ぶ態度や社会の変化に対応できる総合的な力を身につけることを目指し、活動を支援する立場として研修プログラムへの支援や指導の工夫・改善を行う。

(1) 研修プログラムへの支援

自然の家周辺の自然環境や施設を活かした研修活動を提供し、子どもにとってゆとりがあり満足感・達成感を得ることができるプログラムを展開していくことができるように支援する。

(2) 指導者講習会及び事前打合せ会の充実

指導者を対象とした実技研修、リスクマネジメント等の指導者講習会を行うことで、指導への不安解消、危機管理意識を高め、子どもへの指導の充実や事故の予防を徹底する。

事前打合せ会では、各団体のねらいが達成できるプログラムになっているのかを検討し、子どもが主体的・協働的に学ぶことができるゆとりある研修プログラムになるよう助言する。

また、活動場所の確認や実際に活動を行う等、指導者がより活動の見通しをもって子どもの指導を行っていくことができるように支援し、子どもが自ら学ぶ体験活動を目指す。

(3) 指導資料の活用と整備

利用する団体が活用しやすいように、活動の目的がわかりやすい指導資料を整備し、ホームページ等を利用して資料や情報の提供を行うことで、研修プログラムの作成や手続き等の更なる利便性の向上を目指す。

■取組 2 野外活動センター等の事業の充実 【少年自然の家】

(1) 環境に関する情報提供

自然保護の意識を高めるために、野山に住む生き物の模型や自然の家周辺の動植物の写真などの掲示等を用いて、環境に関する情報を提供する。また、季節ごとに特徴的な動植物等の展示も行う。

(2) 野外活動の発信及び季節毎の周辺自然観察会の実施(3回)

少年自然の家の野外活動に対する興味や関心を高めるために、ホームページや所報等で情報の発信をする。また、季節に合わせて(春1回・秋1回・冬1回)市民対象の自然観察会を行い、周辺の自然の魅力を伝えていく。

(3) 市民へのキャンプ入門の場の提供(2回)

板橋沼キャンプ場の無料提供を実施し、入門期のキャンプ場利用の提供を行う。このことによって、広く市民に自然の家の活動内容や施設の機能の理解を促す。

(4) 生活体験の家の活用促進

市民を対象に生活体験の家にふさわしい事業を年1回実施するとともに、利用団体にも施設内

で可能な活動を積極的に紹介していくことで、活用の促進を図る。

(5) 相談機能の充実

利用者からの自然の家周辺の自然環境に関する問い合わせや、児童生徒の課題研究への相談に対応するため、野外活動センター職員を対象とした、動植物等の自然環境に関する研修を実施する。

■取組3 社会貢献活動の推進 【少年自然の家】

(1) ボランティア・社会教育スタッフ育成事業

生涯学習や社会教育に関わる人材を育成するために、大学生(山形大学・東北文教大学・東北芸術工科大学等)を対象にしたボランティアの育成とともに、山形大学の社会教育実習への協力を行う。

自主事業で行う活動を実際に体験しながら、体験活動を通じた子どもの資質・能力や子どもへの指導・支援のポイントについて具体的に学ぶ。

■取組4 施設環境の整備の推進 【少年自然の家】

(1) 施設・設備の改修・安全管理

施設利用者が安心・安全に活動することができるようにするために、定期的な点検を行い、施設・設備の維持・改修・安全管理に努める。また、熊や熱中症などの対策を継続するとともに、利用者の安全を第一に考えた支援・指導を行う。

(2) 環境保全

少年自然の家の環境保全とともに、広く市民が環境保全を推進するきっかけをつくるために、コンポストによる生ごみの処理や合成洗剤等の使用制限などを行う。

■取組5 職員研修の充実 【少年自然の家】

(1) 研修スタッフへの計画的な研修

充実した体験学習の推進のため、研修活動を適切に指導・支援することができるよう、研修スタッフ全員を対象にした計画的な職員研修を実施する。また、各事業及び各団体への支援におけるPDCA（計画・実施・評価・改善）のサイクルを日常的に行う。

(2) 危機管理及びリスクマネジメント研修の充実

安全管理の徹底とリスクマネジメントの充実を図るために、危機管理マニュアルの見直しや避難訓練、救急蘇生講習会の継続的な実施を行う。

令和8年度 主催事業実施計画

山形市少年自然の家

対象	No.	主催事業名	募集人員	ねらい	方向性	主な内容	期 日
I 指導者	1	夏期利用指導者講習会 [小・中学校教員等]	該当団体	各校の活動プランを、自然の家のねらい及び指導者や子どもの願いを反映したものにするために、実技研修・育ちを実現するための活動と支援についての研修・リスクマネジメント研修を行い、指導者の資質向上をめざすとともに、利用団体間の利用調整を行う。	各校の「子どもが育つプログラム」をデザインする力を高めることを踏まえ、さらには若手教員が増えている実情にも配慮し、2部構成で実施する。 第1部(午前)は実技研修。第2部(午後)は必修とし、育ちを実現するための活動と支援やリスクマネジメント・手続き等を学ぶ研修及び各団体間の利用調整を実施する。参加する教員の負担軽減も考慮して第2部の開始時間を30分遅くする。また、冬期講習会については、実技研修の必要がないことから午後の実施とし、会場も市街地公民館等を利用する。	施設見学・実技研修(選択) 子どもの育ちを実現する活動と支援 リスクマネジメント研修 利用調整・事務手続	4月17日(金) 1部 9:00~12:00 2部 14:00~17:00
	2	秋期利用指導者講習会 [小・中学校教員等]	該当団体			施設見学・実技研修(選択) 子どもの育ちを実現する活動と支援 リスクマネジメント研修 利用調整・事務手続	8月4日(火) 1部 9:00~13:00 2部 14:00~17:00
	3	冬期利用指導者講習会 [小・中学校教員等]	該当団体			子どもの育ちを実現する活動と支援 リスクマネジメント研修 利用調整・事務手続	12月1日(火) 14:20~16:50
	4	利用指導者講習会 [子供会等]	該当団体	団体のニーズに応じた講習会にするため、午前の部の実技研修と、午後の部の講話及び利用調整に分けて実施する。	施設見学・プログラム体験(選択) 子どもの育ちを実現する活動と支援 リスクマネジメント研修 利用調整・事務手続	各団体個別に実施	
	5	冬期利用指導者講習会 [子供会等]	該当団体	冬の事故等の事例をもとに、リスクマネジメント研修を強化していく。	実技研修(選択) リスクマネジメント研修 利用調整・事務手続	各団体個別に実施	
	6	ボランティアスタッフセミナー	大学生 大学院生	子ども理解を深め、各事業での具体的な活動を想定しながら研修することにより、ボランティアとしての資質向上を図る。	実際の体験活動を通して、児童の特性や価値ある体験活動にするための支援等を学び、ボランティアスタッフとしての仕事を理解することができる内容を設定する。	ベッドメイキング テント設営 炊飯活動 研修場面での支援の在り方(講習) 各種クラフト研修 他	5月10日(日)
II 小・中学生	7	第28回 わんぱくサマーキャンプ 1泊2日	小4~中2 30名程度	キャンプや自然体験活動を通して、自然の素晴らしさを実感するとともに、友だちと協力することの大切さを感じ取る。	キャンプやウォークラリー、表現活動、製作活動などをバランスよく仕組み、協働体験や自然体験の喜びを体感させる。異学年の交流を大切に活動を展開する。	キャンプ・ナイトハイク 追跡ハイキング 退所ハイク 他	8月1日(土) ~2日(日)
	8	第33回 わんぱくウインターキャンプ 1泊2日	小4~中2 30名程度	冬の自然体験を通して、自然の雄大さ・協力することの大切さを実感するとともに、門松作りなどの伝統文化のよさを味わう。	自然の家の施設やプログラムを活用した研修内容を設定し、自然の中で活動する喜びを体感させる。異学年の交流を大切に活動を展開する。	門松つくり 雪上運動会 他	12月26日(土) ~27日(日)
	9	第40期 少年団 1泊2日 年7回	小4 30名程度	年間7回の宿泊活動の中で、さまざまな自然体験や仲間との協働体験などを通して、心身ともにたくましく、自然を愛する子どもを育成する。	学校などでは経験できない体験活動を提供し、学校や学年のリーダーになれるように炊飯活動や宿泊棟での生活など、基本的な技能を身につけることができるようにする。 また、苦勞の中にも「夢や願い」をもつことができるような活動を吟味し、仲間と心で繋がりに乗り越えていく心地よさを主体的に行動する充実感を味わえるように支援する。	プロジェクト・ベンチャー・ナイトハイク 他 キャンプ・炊飯活動・いかだ 他 白鷹山WR・プラネ・運動広場野宿 他 ミステリーツアー・うどん打ち 他 3食炊飯活動(芋煮)・草木染め 他 ラング・自作そり 他 雪上運動会・文集・卒団式 他	① 6月13日(土)~14日(日) ② 7月11日(土)~12日(日) ③ 9月5日(土)~6日(日) ④ 10月10日(土)~11日(日) ⑤ 11月7日(土)~8日(日) ⑥ 1月9日(土)~10日(日) ⑦ 2月27日(土)~28日(日)
	10	わくわくキッズキャンプ 1泊2日 年2回	小3・4 各30名程度	自然体験活動を通して、自然の素晴らしさを体感するとともに、初めて会う職員や友達と交流する楽しさを味わう。	学校等で経験できないプログラムを提供し、炊飯活動や宿泊棟での生活など基本的な技能を身につけることができるようにする。	夏 炊飯活動・東黒森山登山 キャンプファイヤー・いかだ 他 冬 そり滑り・チューブ滑り アイスクリーム作り・ラング 他	① 6月27日(土)~28日(日) ② 1月30日(土)~31日(日)
	11	森の昆虫見つけ隊 観察編2回 標本製作編2回	小3~中3 までの親子 10組20名程度	昆虫採集・標本作りを通して、豊かな自然環境を大切にしていこうとする気持ちを育てる。	土日に実施し、親子で参加しやすいようにする。また、多くの参加者が見込まれる際には、複数の講師を招聘し、十分な対応ができるようにする。また、季節ごとの昆虫を観察できる講座を2回新設する。	昆虫観察 昆虫採集 昆虫標本づくり	① 5月31日(日) ② 6月28日(日) ③ 7月25日(土) ④ 7月26日(日)
	12	自然チャレンジ部 年6回	中1・2 5~10名程度	生徒達自らが活動内容を検討してプログラムを作成し、協力を自発的に活動することで、生活でのさまざまな課題について、適切に対応し解決に向けた行動力を養う。	生徒が自分で考え、判断・選択し、行動できる時間を確保する。また、毎回活動の振り返りを行い、成果や課題をその後の活動に活かすことができるようにする。	自然体験活動	① 7月4日(土) ② 8月8日(土) ③ 9月12日(土) ④ 10月3日(土) ⑤ 10月31日(土) ⑥ 2月13日(土)
III 親子	13	親子ふれあい自然体験 日帰り	小1~3年の親子 10組程度	親子自然散策や調理などを通して自然の豊かさを体感させるとともに、親子でのふれあいの機会をつくる。	自然体験活動や炊飯活動を通して、親子のコミュニケーションの活性化を図る。また、子どもの体験を豊かにするための「見守る姿勢」の重要性も伝えながら、活動を展開する。	親子自然体験活動 親子炊飯活動 他	5月23日(土) 5月30日(土)
	14	親子そば打ち道場 日帰り	中3までの親子 15組程度	親子での体験を通して、自然の家の役割についての理解を深め、自然に親しむ契機としていただく。	Myそば猪口・My著作りやそば打ちを通して、親子の絆を深める。また、地域人材を活用し、地域に伝わる技術を継承する。	竹のそば猪口と竹箸つくり そば打ち講習 そば試食会	11月29日(日)
IV 一般市民	15	自然の家 秋祭り	一般市民 200名程度	市民に施設を広く開放し、様々な野外活動・文化活動などの機会を提供することにより、少年自然の家の機能や役割についての理解を深め、豊かな山形の自然環境保全について考える契機としていただく。	一般市民に、自然の家の施設や活動内容について理解していただくような体験活動の場を提供する。また、人気のある特製芋煮を多めに用意し、多くの方々に喜んでいただけるようにする。	野外活動 (ディスクゴルフ、ソリクライミング 他) 文化活動 (森のコンサート、各種クラフト 他)	9月27日(日)
	16	周辺の自然を味わう×季節毎	一般市民 20名程度	同上	一般市民に、自然の家の施設や活動内容について理解していただくような体験活動の場を提供する。 ※冬は和かんじき体験を実施	自然の家周辺	春 4月25日(土) 秋 10月24日(土) 冬 令和9年1月23日(土)
	17	家族でキャンプ体験	一般市民 家族10組	一般市民にテント泊によるキャンプ体験を提供し、入門編として今後のキャンプ体験のきっかけとしていただく。	一般市民に、入門期の板橋沼キャンプ場での宿泊体験を提供する。	板橋沼キャンプ場	① 6月6日(土)~7日(日) ② 8月22日(土)~23日(日)
	18	プラネタリウム一般公開 年3回	一般市民 70名程度×2回	一般市民を対象とした生涯学習を目的とし、プラネタリウム体験を通して、星空への興味や関心を高める。※2回目は、自然の家秋祭りの一つの活動として計画する。	世代の違いがあっても満足できるような上演に努める。また、山形大学名誉教授 柴田先生からの協力をお願いしながらの公開となる。	1回目……春・夏の星座 2回目……夏・秋の星座 3回目……秋・冬の星座	① 5月24日(日) ② 7月26日(日) ③ 11月1日(日)
	19	生活体験の家活用事業	一般市民 15名程度	生活体験の家にふさわしい事業を実施し、施設の活用を図る。	怪談作家の黒木あるじ氏を講師に、お話を実施する。	生活体験の家	8月29日(土)
V 共催	20	雪椿鑑賞会	一般市民 30名程度	雪椿の群生地として貴重な場所であることを広く知らせ、環境への関心を高める。	地元の方々に協力しながら、自然環境についての理解を深めていただく場とする。	自然の家職員による説明 他	4月26日(日)
VI 支援	21	山形大学 社会教育実習	山形大学 学生	学校教育と社会教育の連携の在り方や子どもに対する支援の在り方について、実際の活動を通して理解を深めさせる。	講義や実技研修を中心とした基本実習と、主催事業の中で実際に子どもに支援する応用実習の関連を明らかにしながら指導にあたる。	基本実習 ・指導者に必要な支援を学ぶ講義・実技研修 他 応用実習 ・実際の支援の在り方を体験する研修	基本実習:8月12日(水) ~14日(金) 応用実習:各主催事業

令和8年度 利用団体予定一覧表(令和8年1月31日現在)

9 月					10 月			11 月			12 月			1 月			2 月			3 月											
日	曜	行事	荒沼キャンプ場	本館	板橋キャンプ場	サービスセンター	曜	行事	本館	サービスセンター	曜	行事	本館	サービスセンター	日	曜	行事	本館	サービスセンター	曜	行事	本館	サービスセンター	日	曜	行事	本館	サービスセンター	日		
1	火						木		東沢小①34 山東小①59		日	プラネタリウム一般公開③			1	金	元日 ※条例による休日～1/3			月	臨時開所日			1	月						
2	水						金		大郷小①31 麓一小①2100		月				2	土				火				2	火						
3	木						土		SC事業 自然チャレンジ部④		火	文化の日			3	日				水				3	水						
4	金						日				水				4	月				木				4	木						
5	土	少年団④					月				木				5	火				金				5	金						
6	日						火		桜田小①55		金				6	水				土				6	土						
7	月						水		明治小①11		土	少年団⑤			7	木	スキー場オープン			日				7	日						
8	火						木		山二小①71		日				8	金				月				8	月						
9	水						金		出羽小①67		月				9	土	少年団⑥			火				9	火						
10	木					南山形小①64	土	少年団④			火				10	日				水				10	水						
11	金		山八小特支29 東沢小④25			山三小①61	日				水				11	月	成人の日 サービスセンター臨時開放日			木	建国記念の日 サービスセンター臨時開放日				11	木					
12	土	SC事業 自然チャレンジ部⑤					月	スポーツの日			木				12	火	憲休			金				12	金						
13	日						火	憲休			金				13	水		こども園ちとせ34 こども園のはな27		土	SC事業 自然チャレンジ部⑥			13	土						
14	月						水		鈴川小①2178		土	第3日曜日の前日			14	木		南沼原小①119 山形南保24		日				14	日						
15	火						木		金井小①109		日	第3日曜日			15	金		山一小①255 大曾根小①28 村木沢小①217		月				15	月						
16	水		西山形小⑤14 西山形小④18				金		山辺小①67		月				16	土	第3日曜日の前日 サービスセンター臨時開放日			火				16	火						
17	木						土	第3日曜日の前日			火				17	日	第3日曜日 サービスセンター臨時開放日			水				17	水						
18	金	荒沼キャンプ場最終日	山四小全188			宮浦小①43	日	第3日曜日			水				18	月		南沼原小②121 愛育保20		木				18	木						
19	土	第3日曜日の前日					月				木				19	火	第3日曜日の前日	山南小①2153 山形豊学校15		金				19	金						
20	日	第3日曜日					火				金				20	水	第3日曜日	山十小①2115 山六小①2118		土	第3日曜日の前日 サービスセンター臨時開放日			20	土						
21	月	敬老の日					水				土				21	木		山七小①2124 村木沢小④19 山九小①2131 山三小①2116 東沢小①267		日	第3日曜日 サービスセンター臨時開放日			21	日						
22	火	国民の休日					木		山七小①63		日				22	金				月				22	月						
23	水	秋分の日					金				水	勤労感謝の日			23	土	SC事業 冬の周辺の自然を味わう			火	天皇誕生日 サービスセンター臨時開放日			23	火						
24	木		学習センター26			山西小①66	土	SC事業 秋の周辺の自然を味わう			木	憲休			24	日				水				24	水						
25	金	板橋沼キャンプ場最終日				西山形小①221 滝山小①101	日				水				25	月	臨時開所日	鈴川小①2178 山形南保22		木				25	木						
26	土						月				木				26	火	ウインターキャンプ			金				26	金						
27	日	自然の家秋祭り					火				金				27	水		麓一小①2100 山東小①2118		土	少年団⑦			27	土						
28	月						水				土				28	木	※条例による休日～12/31			日				28	日						
29	火					千歳小①82	木				日	親子そば打ち道場			29	金		山四小①247 宮浦小①277 相模小①231 山二小①2125 みはらし小①2137 山寺小①27		月			29	月							
30	水					南沼原小①119	金				水				30	土	キッズキャンプ②			火				30	火						
31	土						日	SC事業 自然チャレンジ部⑤			木				31	日				水				31	水						

※※※※…は休館日。 ▲▲▲▲…は主催事業。 以上の部分については、受け入れができませんので、ご理解の程よろしくお願いします。